



取扱説明書

デジタル特定小電力 IPレピータ IC-D400RP

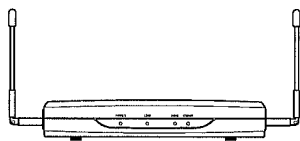
[IEEE802.3af]規格PoE対応

ご使用前に 1

1台でご使用になるには 2

IP網でご使用になるには 3

ご参考に 4



Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、デジタル特定小電力トランシーバー^{*1}用の中継装置です。

IP網に接続できますので、本製品どうしてネットワークを構築^{*2}することで、通話エリアが拡大します。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

^{*}1.本製品は、IC-D400(デジタル特定小電力トランシーバー)以外の中継装置として使用できません。(2006年9月現在)

^{*}2.ネットワークの構築には、IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が必要です。

^{*}本書で記載するIPレピータ集中管理サーバとは、IPレピータ集中管理ソフトウェアがインストールされたサーバを意味します。

標準構成

本製品には、下記のものと同梱しています。

- ◎IC-D400RP(本製品) 1台
- ◎本体固定用金具 1式
- ◎ACアダプター 1個
- ◎取扱説明書(本書)
- ◎保証書

電波法上のご注意

- 特に他局の通信を妨害したり、通話の内容を他に漏らし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- 分解や改造して使用することは、かたく禁じられています。
- 使用できるのは、日本国内に限られています。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、iCOMは、アイコム株式会社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

はじめに

おもな別売品について

(2006年9月現在)

SA-3 : イーサネット電源供給ユニット



左図の本体には、ACアダプターが付属します。

MB-99A : 壁面取付金具



※本製品を1台でご使用の場合、SA-3の使用はおすすめできません。
 SA-3の接続中は、(MODE)ボタン(※P3)で[運用チャンネル]の切り替えができなくなります。
 ※SA-2、SA-2(A)[弊社製イーサネット電源供給ユニット]は、本製品に使用できません。
 ※本製品をIP網に複数台接続してシステムを構築する場合は、IPレピータ集中管理ソフトウェアがインストールされたIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)をご用ください。

はじめに

もくじ

はじめに	i
もくじ	iii
安全上のご注意(必ずお読みください)	iv
1.ご使用前に	1
1-1.各部の名称と機能	2
1-2.アンテナについて	4
1-3.本製品の設置について	4
2.1台でご使用になるには	7
Step 1.アース線と電源の接続	8
Step 2.運用チャンネルの設定	9
Step 3.通信の確認	10
3.IP網でご使用になるには	11
Step 1.アース線と電源の接続	12
Step 2.本製品の設定	13
Step 3.通信の確認	14
4.ご参考に	17
4-1.周波数一覧表	18
4-2.設定を出荷時の状態に戻すには	19
4-3.PoEによる電源供給について	20
4-4.故障のときは	21

取り扱い上のご注意

- ◎パソコンやその他の周辺機器の取り扱い、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
このようなときは、本製品を、妨害を受けている機器からできるだけ離してご使用ください。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
- ◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
- ◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 次の「△危険」「△警告」「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

■本製品について

△ 危険 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
火災、爆発の原因になります。

もくじ / 安全上のご注意

安全上のご注意

■本製品について(つづき)

△ 警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になります。

◎付属のACアダプター以外は使用しないでください。

◎指定以外の付属品、および別売品は使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎DCジャック以外の端子に電源を接続しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎設置する場合は、必ずアース線を接続してください。
また、アース線は、ガス管や水道管に接続しないでください。
火災、感電の原因になります。

◎完全調整していますので、分解、改造は、絶対にしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎アンテナや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。

◎アンテナや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。

◎通気口をふさがしないでください。
発熱などにより、火災、感電、故障の原因になります。

◎本製品を使用中は、ぬれた手で本製品に触れないでください。
感電の原因になります。

◎水などでぬれやすい場所(加湿器のそばなど)に設置しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、設置してください。
感電、けがの原因になります。

◎万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする、水などがに入った場合は、使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに、本製品に接続しているACアダプターのプラグとその他のケーブル類を取りはずしてください。
煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社営業所カスタマーサービス担当に連絡してください。

iv

v

安全上のご注意

△ 注意 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- ◎屋外に設置しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎テレビやラジオなどの電子機器の近くで使用しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- ◎強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎温度が、0℃～+60℃を超える環境では使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎上に乗ったり、重い物を載せたり、挟んだりしないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
けが、故障の原因になることがあります。
- ◎直射日光のあたる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所では使用しないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎近くに雷が発生したときは、ACアダプターを接続しているコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。
また、ケーブルの接続や切断、または製品の導入や保守の作業をしないでください。
火災、感電の原因になることがあります。
- ◎ぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。
また、本製品どうしやほかの製品と重ねて置かないでください。
火災、故障の原因になることがあります。
- ◎長時間、使用しないときは、安全のため本製品に接続するACアダプターを取りはずしてください。
発熱、発火、故障の原因になることがあります。
- ◎結露するような場所で使用しないでください。
温度差の激しい環境を急に移動した場合、結露するおそれがありますのでご注意ください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
結露した場合、乾燥させるか、長い間同じ環境に置いたあと、ご使用ください。
- ◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。
ケースが変質したり、塗料がはげたりする原因になることがあります。
普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

安全上のご注意

安全上のご注意

■ACアダプターについて(付属品)

△ 警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎本製品以外の機器で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎ACアダプターの金属部分や、その周辺にホコリが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。
そのまま使うと、火災の原因になります。

◎電源コードの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。

◎電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
傷ついて破損し、火災、感電、故障の原因になります。

◎ぬれた手でACアダプターや機器に絶対触れないでください。
感電の原因になります。

◎風通しの悪い場所で使用したり、タコ足配線やACアダプターどうしを密着させたりして使用しないでください。
発熱、火災、感電、故障の原因になります。

◎水などでぬれやすい場所で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、火災、感電の原因になります。

◎抜き差しするときは、必ずDCコネクターやACアダプター本体を持ってください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎コンセントの差し込みがゆるかったり、電源コードが傷ついたりしたときは、使用しないでください。
火災、感電、故障、データの消失または破損の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社営業所カスタマーサービス担当に連絡してください。

vi

vii

この章では、
本製品のおもな機能などについて説明しています。

1-1. 各部の名称と機能 2

 ■ 前面部 2

 ■ 後面部 3

1-2. アンテナについて 4

1-3. 本製品の設置について 4

 ■ 設置場所について 4

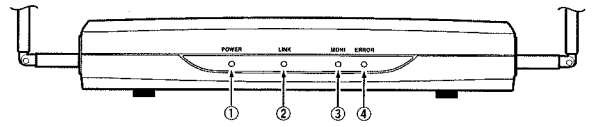
 ■ 設置方法について 5

 ■ PoE機能について 6

1 ご使用前に

1-1. 各部の名称と機能

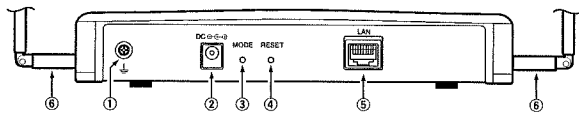
■ 前面部



- ① [POWER]ランプ 点灯：本製品に電源が供給されているとき
- ② [LINK]ランプ 点灯：受信しているとき
点滅：送信または受信しているとき
消灯：待ち受けしているとき
- ③ [MONI]ランプ 点灯：ネットワーク音声通信モードが設定されている
消灯：ネットワーク音声通信モードが設定されていない
※「ネットワーク通信モード」とは、本製品をIP網で使用する
るときに使用します。
点滅：[運用チャンネル]を切り替えたとき
(MODE) ボタンを約5秒以上押しして初期化(※4-2
章)したとき
設定データの書き込みをしているとき
※ch27→ch1に切り替わるときは、[MONI]ランプと
[ERROR]ランプが、約1秒間、同時に点滅します。
- ④ [ERROR]ランプ 点灯：ネットワーク音声通信モードで使用している状態
で、約30秒以上、IPレビータ集中管理サーバと
正常に通信できない状態がみついたとき
点滅：本製品に不具合が発生し、使用できないとき

ご使用前に 1

■ 後面部

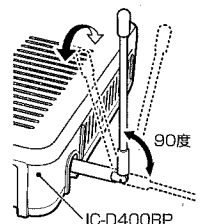


- ① アース端子 アース線(市販品)を接続します。
 - ② DCジャック 付属のACアダプターを接続します。
 - ③ (MODE) ボタン 約5秒間以上押しすると、本製品を出荷時の設定に戻します。
(※4-2章)
- 初期化操作について**
出荷時の設定に戻す(初
期化する)と、販売店と
詳細な設定が必要になる
ことがありますので注意
してください。
予期できない事故に備え
て設定データの保護を販
売店に依頼いただくこ
とをおすすめします。
- ④ (RESET) ボタン 本製品の電源を入れなおすときと同じで、ボタンを押す
と本製品を再起動します。
※押しときは、ペン先などを利用してください。
 - ⑤ [LAN]ポート 市販のLANケーブルを使用して、HUBなどのネットワ
ーク機器と接続します。
※本製品を複数台で使用しない場合は、接続の必要はありません。
※本製品を出荷時の状態で、既存のIP網に接続しないでください。
出荷時の状態で接続すると、既存のネットワーク機器に割り当て
られているIPアドレスと重複する可能性があります。
※低速なHUBを本製品に接続した場合、意図しない動作で通信に障
害を与えることがありますので、必ず100BASE-TX対応のスイ
ッチングHUBをご使用ください。
 - ⑥ アンテナ 電波を放射、または受信する部分です。(※P4)

1 ご使用前に

1-2. アンテナについて

2本のアンテナは、0~90度の範囲で折り曲げて使用で
きます。
また、折り曲げた状態で、回転できません。
※電波状況が悪いと感じられたときは、アンテナの向き、
または設置場所を変えてください。



△警告
アンテナの端を持って本製品を振り回さないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、破損の原因になります。
△注意
アンテナは、電波法により取りはずしできない構造になってい
ます。
改造して使用すると、電波法違反になります。

1-3. 本製品の設置について

本製品の設置に関する内容について説明します。

■ 設置場所について

設置条件によっては、通信範囲に影響します。

設置条件は、次のとおりです。

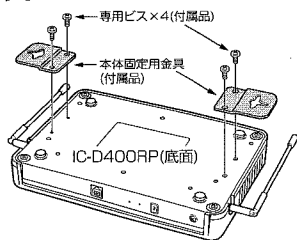
- ◎ 室内で、なるべく見通しの良い(高い)場所
- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所
- ◎ その他、以下のことを考慮して設置してください。
 - 本製品の上に物を置いたり、本製品どうしやほかの製品を重ねて置いたりしないで
ください。
 - 電波は壁やガラスを通過しますが、金属は通過しません。
コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれていて、電波を遮断するものがあ
ります。
ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するもの
があります。
 - 通信範囲はオープンスペースだと最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金
属製の壁があると、電波を反射することがあります。
 - 床にはぶつろ、鋼製の梁がはいっており、金属製防火材が埋め込まれていることが
あります。
そのため多くの場合、違う階に設置した本製品には電波が届きません。

■ 設置方法について

本製品を固定するときは、下記の手順を参考にしてください。

1. 金具を本製品に固定する

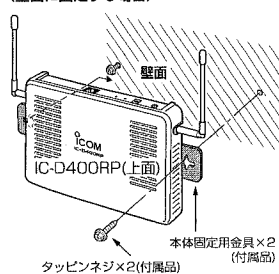
本製品を壁面や棚などに固定するときには、右図のように付属の固定用金具を取り付けてからご使用ください。



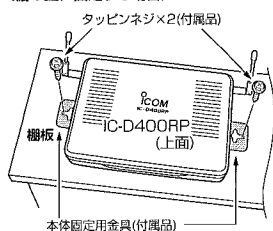
2. 本製品を固定する

本製品に接続されたACコードや接続ケーブルが、人体に触れて落下するのを防止のため、下記の図のように固定してください。

〈壁面に固定する場合〉



〈棚の上に固定する場合〉



1

5

1-3. 本製品の設置について(つづき)

■ PoE機能について

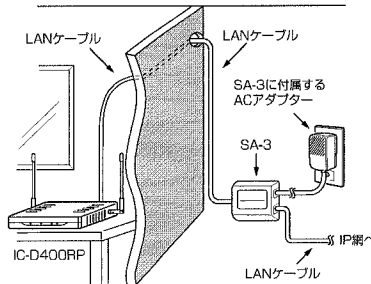
本製品と接続されたLANケーブルを利用して、本製品に電源を供給する機能です。本製品に付属のACアダプターが届く範囲内にコンセントやIEEE802.3af規格対応のHUBがない場合に備えて、別売品のイーサネット電源供給ユニット(SA-3)をご用意しています。

SA-3をお使いいただくことで、本製品の[LAN]ポートから電源供給できます。

接続について詳しくは、「PoEによる電源供給について」(※4-3章)をご覧ください。

※SA-3に付属のアダプターは、本製品に使用しないでください。

※IEEE802.3af規格対応のHUBで電源供給をする場合は、本製品に付属のACアダプターやSA-3を接続する必要はありません。



6

1台でご使用になるには

第2章

2 1台でご使用になるには

Step 1 → 2 → 3

Step 1. アース線と電源の接続

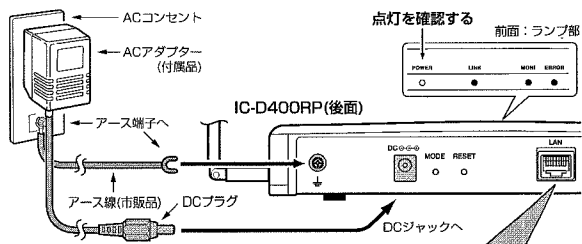
本製品に電源を供給すると、[POWER]ランプが点灯します。

[POWER]ランプ以外は、約5秒間、点滅します。

※点滅がいつまでもつづく場合は、IP網でご使用になる設定(※3章)がされている場合があります。

15ページをご確認いただき、それでも異常と思われるときは、お買上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にお問い合わせください。(※4-4章)

※SA-3(別売品)をご使用になる場合は、本書4-3章を参考に接続してください。



△注意
1台でご使用の場合、接続の必要はありません。
※IP網に接続できるように詳細な設定がされていないので、稼働中のネットワークに接続すると、不測の事態になることがあります。

△警告
アース線は、本製品に付属していません。
市販品をご用ください。
本製品のアース端子は、必ず接続してください。
落雷したときの電気的ショックをやわらげたり、火災や感電、ノイズの回り込みを防止できます。
アース線は、必ずコンセントのアース端子につなぐか、市販のアース棒につないで地中に埋めてください。
決して、ガス管や水道管につなぐしないでください。

この章では、

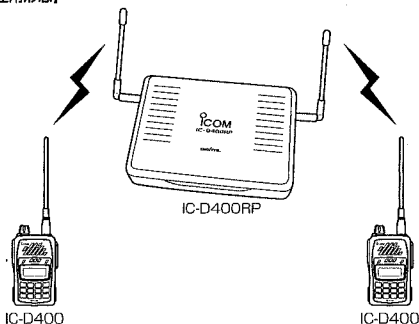
下図のように、本製品を1台で使用する場合について説明します。

Step 1.~Step 3.の手順にしたがって設定してください。

※本製品をIP網と接続してシステムを構築する場合は、3章をご覧ください。

Step 1.アース線と電源の接続	8
Step 2.運用チャンネルの設定	9
■ ランプの状態	9
Step 3.通信の確認	10

【基本的な運用形態】



7

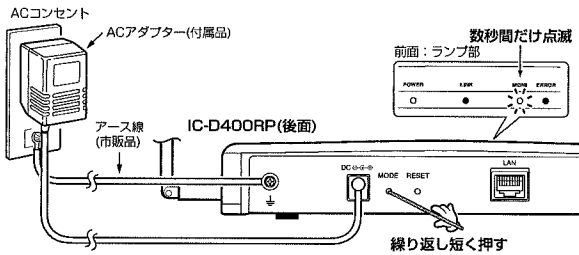
8

1台でご使用になるには 2

1 Step2 Step3

Step2. 運用チャンネルの設定

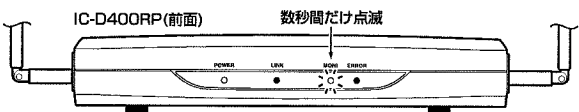
IC-D400と同じ番号の[運用チャンネル]に設定します。
出荷時、本製品の[運用チャンネル]は、「ch1 (RPT)」に設定されています。
〈MODE〉ボタンを繰り返し短く押すごとに、「ch27 (RPT)」まで1チャンネルずつ順番に切り替わり、「ch27 (RPT)」から「ch1 (RPT)」に戻ります。
※〈MODE〉ボタンを押すときは、ペン先などを使用してください。
※チャンネルが切り替わるごとに、[MONI]ランプが数秒間だけ点滅します。
「ch1 (RPT)」に戻ったときは、[ERROR]ランプと[MONI]ランプを同時に数秒間だけ点滅します。



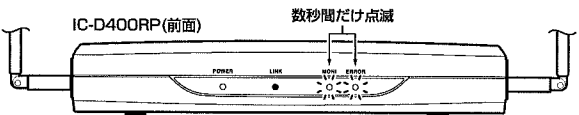
2

■ランプの状態

「ch1 (RPT)」から「ch27 (RPT)」まで順に切り替えたとき



「ch27 (RPT)」から「ch1 (RPT)」に切り替えたとき



9

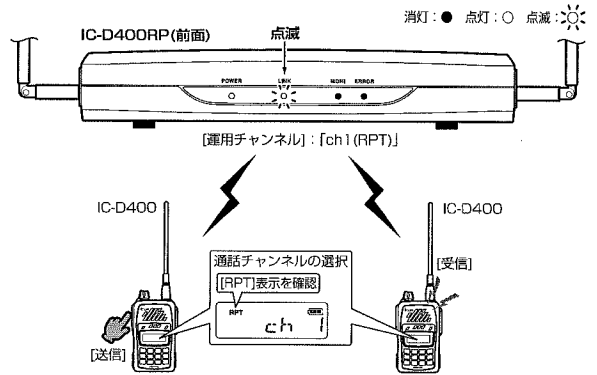
10

2 1台でご使用になるには

1 Step2 Step3

Step3. 通信の確認

IC-D400を送信状態にして、本製品との通信を確認します。
IC-D400と本製品が通信しているあいだは、[LINK]ランプが点滅します。



IP網でご使用になるには

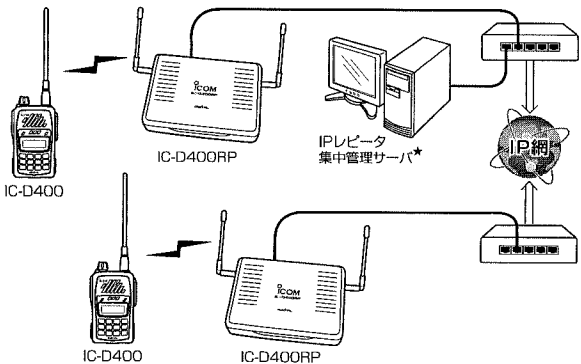
第3章

この章では、
下図のように、本製品を2台以上使用してIP網を介して中継する場合について説明します。

Step1.~Step3.の手順にしたがって設定してください。
※本製品を1台でご使用になるときは、2章をご覧ください。

Step1.アース線と電源の接続	12
Step2.本製品の設定	13
Step3.通信の確認	14
■IP網との接続について	15

【基本的な運用形態】



★本製品を管理するために、システムに1台だけが必要です。
IPレビータ集中管理サーバ(弊社別売品)とは、IPレビータ集中管理ソフトウェアがインストールされたサーバを意味します。
※上記の図は、説明のための構築例ですので、実際のシステムとは異なります。

11

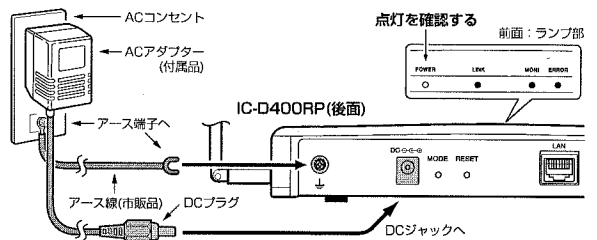
12

3 IP網でご使用になるには

Step1 Step2 Step3

Step1.アース線と電源の接続

本製品に電源を供給すると、[POWER]ランプが点灯します。
[POWER]ランプ以外のランプは、約5秒間、点滅します。
※点滅がいつまでもつづく場合は、15ページをご確認いただき、それでも異常と思われるときは、お買上げの販売店、または弊社各営業所カスタマーサービス担当にお問い合わせください。(※4-4章)
※SA-3(別売品)をご使用になる場合は、本書4-3章を参考に接続してください。

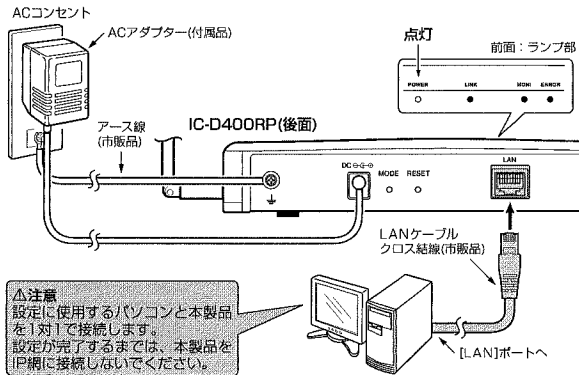


△警告
アース線は、本製品には付属していません。
市販品をご用意ください。
本製品のアース端子は、必ず接続してください。
落雷したときの雷電的ショックをやわらげたり、火災や感電、ノイズの回り込みを防止できます。
アース線は、必ずコンセントのアース端子につなぐが、市販のアース線につないで地中に埋めてください。
決して、ガス管や水道管につながないでください。

Step2. 本製品の設定

本製品を設定するときは、下記のようにパソコンと接続します。
本製品の設定には、専用ソフトウェアが必要ですので、お買上げの販売店にご依頼ください。

- ※出荷時や全設定を初期化(※4-2章)したときのIPアドレスは、「192.168.0.1」に設定されています。
- 設定に使用するパソコンのIPアドレスは、固定IPアドレス(例：192.168.0.100)に設定してから本製品に接続してください。
- ※パソコンの[LAN]ポートがMDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能に対応していない場合は、クロスケーブル(市販品)をご使用ください。



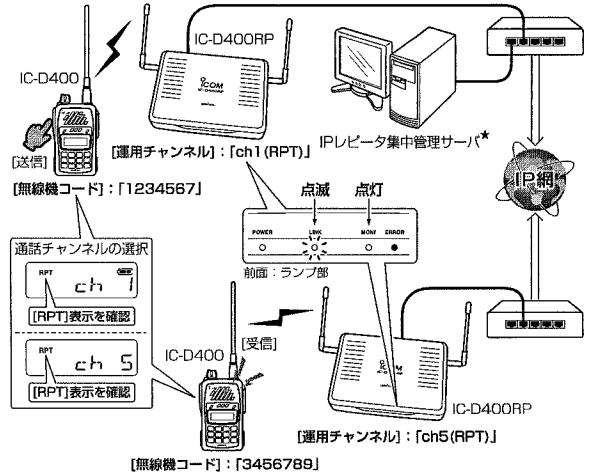
- ※(MODE) ボタンの動作は、[LAN]ポートの接続状態によって動作が異なりますのでご注意ください。
- 動作については、3ページでご確認ください。
- ※本製品とIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)の設定があらかじめ完了している場合は、Step.3(※P14)を参考に通信を確認してください。
- ※本製品の設定に使用するパソコンとIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)に使用するパソコン(※P14)は、同じパソコンではありません。

Step3. 通信の確認

IPレピータ集中管理ソフトウェアがセットアップされたIPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が起動していない場合は、IP網を介して通信できません。

〈確認の手順〉

- ①IP網と接続されたすべての本製品について、[MONI]ランプの点灯を確認します。
※[POWER]ランプを除くすべてのランプが点滅を繰り返す場合は、IPレピータ集中管理サーバが起動していることを確認してください。
- ②稼働中、IPレピータ集中管理サーバとの通信が切れたときは、[ERROR]ランプが点灯します。
- ③IC-D400を送信状態にして、本製品とIP網を介して、相手との通信を確認します。
IC-D400と本製品が通信しているあいだは、[LINK]ランプが点滅します。
- ④送信するときは、無線機の[通話チャンネル]をIPレピータの[運用チャンネル]に設定します。
[無線機コード]は、IP網の先にいる相手の[無線機コード]に設定します。



- ★本製品を管理するために、システムに1台だけ必要です。
- ※上記の図は、説明のための構築例ですので、実際のシステムとは異なります。

■ IP網との接続について

本製品をIP網と接続してシステムを構築する場合は、次のことにご確認ください。
また、下記の内容にご不明な点がございましたら、お買上げの販売店にご相談ください。

- ①本製品を出荷時の状態でIP網と接続しないでください。
出荷時の状態で接続すると、既存のネットワーク機器に割り当てられているIPアドレスと重複する可能性があります。
- ②インターネット・プロトコルは、「IPv4」に対応しています。
- ③本製品を複数台で使用しない場合(※2章)は、IP網と接続の必要はありません。
- ④本製品の[LAN]ポートは、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)の自動判別機能には対応していません。
本製品を自動判別機能に対応しないHUBやパソコンと接続するときは、極性にご注意ください。極性を間違えると、通信できません。
- ⑤100BASE-TX(高速有線LAN)通信をするには、カテゴリ5以上のLANケーブルをご使用ください。
カテゴリの低いものを同じLAN上に混用すると、一番低いグレードにあわせて全体のケーブル特性が低下しますので、ご注意ください。
- ⑥本製品とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大長制限(100m)を超えないような場所に設置してください。
※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなる場合があります。
- ⑦IEEE802.3af対応のHUBやSA-3(4-3章※弊社別売品)と接続するときは、付属のACアダプターを接続する必要はありません。
- ⑧本製品に電源を供給した直後や(RESET)ボタン(※P3)を押したときは、[POWER]ランプを除くすべてのランプが点滅(約5秒間)します。
いつまでも点滅している場合は、下記のことを確認してください。
※本製品のIPアドレスをDHCPサーバから自動取得できるように設定して使用している場合は、本製品とLANケーブルの接続、およびDHCPサーバの状態を確認してから、本製品の電源を入れなおしてください。
※固定IPアドレスを使用する場合は、本製品の[IPアドレス自動取得]を「OFF」に設定してください。
※IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が起動していることを確認してください。
- ⑨[ネットワーク音声通信モード](IP網で使用するための設定)で使用している場合は、IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)との通信が途中で切れると、本製品の[ERROR]ランプ点灯します。
IPレピータ集中管理サーバ(弊社別売品)が起動していること、本製品に設定された[サーバIPアドレス]の指定に間違いがないことを確認してから、本製品の電源を入れなおしてください。
本製品をIP網と接続しない場合は、[ネットワーク音声通信モード]を「OFF」に設定してください。



この章では、周波数一覧表、初期化の方法、SA-3(別売品)の接続方法などについて説明しています。必要なときにお読みください。

4-1.周波数一覧表18
 4-2.設定を出荷時の状態に戻すには19
 4-3.PoEによる電源供給について20
 ■設置と接続のご注意20
 4-4.故障のときは21

4 ご参考に

4-1.周波数一覧表

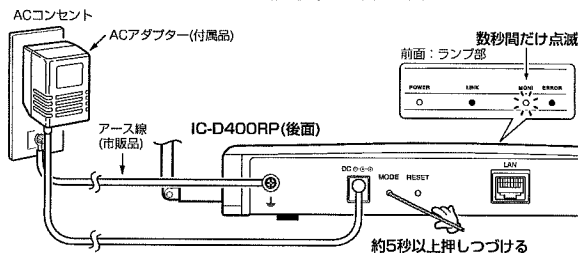
本製品の各運用チャンネルには、下記の周波数が割り当てられています。

運用チャンネル	周波数(MHz)	
	受信	送信
RPT ch 1	440.0250	421.5750
RPT ch 2	440.0375	421.5875
RPT ch 3	440.0500	421.6000
RPT ch 4	440.0625	421.6125
RPT ch 5	440.0750	421.6250
RPT ch 6	440.0875	421.6375
RPT ch 7	440.1000	421.6500
RPT ch 8	440.1125	421.6625
RPT ch 9	440.1250	421.6750
RPT ch10	440.1375	421.6875
RPT ch11	440.1500	421.7000
RPT ch12	440.1625	421.7125
RPT ch13	440.1750	421.7250
RPT ch14	440.1875	421.7375
RPT ch15	440.2000	421.7500
RPT ch16	440.2125	421.7625
RPT ch17	440.2250	421.7750
RPT ch18	440.2375	421.7875
RPT ch19	440.2625	421.8125
RPT ch20	440.2750	421.8250
RPT ch21	440.2875	421.8375
RPT ch22	440.3000	421.8500
RPT ch23	440.3125	421.8625
RPT ch24	440.3250	421.8750
RPT ch25	440.3375	421.8875
RPT ch26	440.3500	421.9000
RPT ch27	440.3625	421.9125

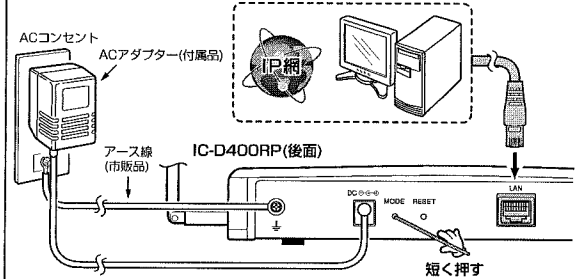
ご参考に 4

4-2. 設定を出荷時の状態に戻すには

〈MODE〉ボタンを約5秒以上押し、出荷時の設定に戻ります。



【パソコン、またはIP網を本製品の[LAN]ポートに接続しているとき】
 通常では使用しませんが、〈MODE〉ボタンを短く押し、一時的に、本製品のIPアドレスを出荷時の設定に移行します。(電源を入れなおすと、元の設定に戻ります。)
 ※移行後は、IP網から切りはなし、1対1(※3章: Step2)で接続してください。



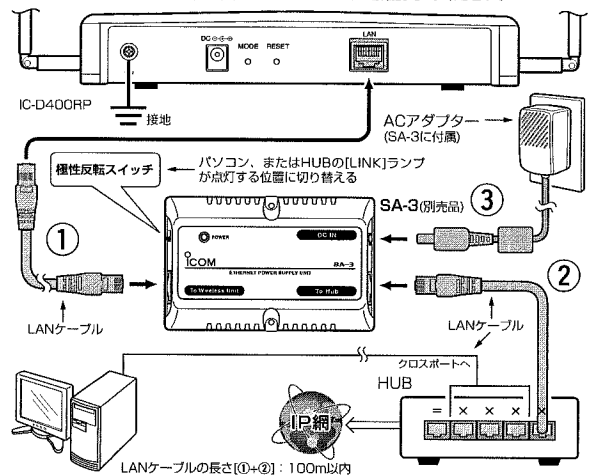
※SA-3(※4-3章)と本製品が接続されていても、パソコンまたはIP網がSA-3の[To HUB]ポートと接続されていない状態では、〈MODE〉ボタンを短く押しと運用チャンネルが切り替わります。この状態で初期化するとき、〈MODE〉ボタンを5秒以上押ししてください。

△注意: 出荷時の設定に戻すと、販売店で詳細な設定が必要になることがありますのでご注意ください。
 予期できない事故に備えて、設定データの保管を販売店にご依頼いただくことをおすすめします。

4 ご参考に

4-3. PoEによる電源供給について

SA-3(別売品)を使用して、本製品に電源を供給する接続方法について説明します。下記の図に示す番号の順に接続後、SA-3の[POWER]ランプが点滅から点灯状態に切り替わらないときは、手順①で接続したLANケーブルを確認してください。



■設置と接続のご注意

- ◎1台のSA-3で電源供給できるのは、本製品1台だけです。
- ◎IC-D400RPに付属のACアダプターは必要ありません。
- ◎SA-3には、電源が必要ですので、コンセントから近い場所に設置してください。
- ◎SA-3は、HUBなどのネットワーク機器とは異なり、レビータ機能は搭載されていません。したがって、SA-3についてもLANケーブルの一部として、Ethernet規格の最大長制限(100m)に含まれますのでご注意ください。
 ※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなる場合があります。
- ◎SA-3は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置できません。
- ◎接続に使用するLANケーブルは、すべてのピンが結線されたものをご使用ください。
- ◎LANケーブルを接続後、SA-3のACアダプターを接続してから、SA-3の[POWER]ランプが点灯に切り替わる(起動する)まで、約10~15秒かかることがあります。

4-4. 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼される時

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも
具合の悪いときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させ
ていただきます。

■弊社製品のお問い合わせ先について

●お買い上げいただきました弊社製品の技術サポートなどご不明な点がございましたら、
下記のサポートセンターにお問い合わせください。

連絡先：アイコム株式会社

サポートセンター 06-6792-4949

(平日 9:00～12:00、13:00～17:00)

電子メール：support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

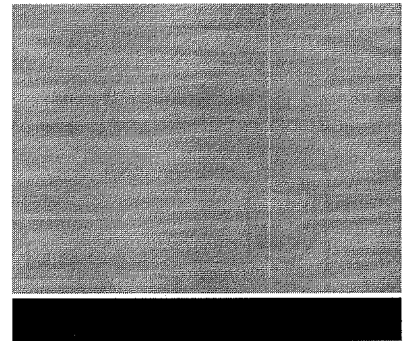
4

●弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、下記の弊社各営業所カス
タマーサービス担当にお問い合わせください。

北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	103-0007	東京都中央区日本橋浜町3-42-3 カスタマーサービス	TEL 03-5847-0722 TEL 03-5847-0724
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美数作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

MEMO

高品質がテーマです。



MEMO